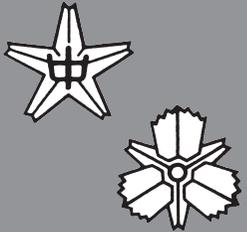


	<p>発行所 〒921-8517 金沢市泉野出町3丁目10-10 石川県立金沢泉丘高校内 一泉同窓会 電話 (076) 242-0211 FAX (076) 216-5656 2015. 3. 31. 発行 E-mail: issen.knz@hotmail.com</p>	
---	---	--

一泉同窓会の創立121周年記念・平成26年度総会・懇親会が10月15日の夜、金沢駅前のホテル日航金沢で開かれた。会場の4階「鶴の間」からロビーにまであふれた約1000人の参加者たちは、旧交を温めながら今年のテーマ「紡・繋・絆 (つむぐ・つなぐ・きずな)」を実感、母校発展への結束を誓い合った。

母校吹奏楽部のウエルカム演奏会に続いて開かれた総会で、清水義博会長(泉丘22期)が「一中45期から泉丘60期まで70歳もの世代を超えた参加者の交流と伝統の重みを大切にしたい」とあいさつ、新屋長二郎校長はお祝いと大規模耐震工事の進捗状況を報告した。続いて中山一郎事務局長(同10期)が25年度決算、26年度予算、120周年記念事業の決算報告を行い、役員改選では清水会長ら14人全員の留任を発表、満場の拍手で承認された。

懇親会は泉丘33期の谷内直君と濱本恭子さんが司会を務め、中村正人さん(同23期)の居合道演武で幕を開け、片岡茂太郎さん(一中46期)の乾杯の音頭で酒宴に入った。和やかな歓談の合間に今春初演されたオペラ「瀧の白糸」の一場面が田島陸子さん(泉丘44期)のピアノ伴奏で上演され、モリ川ヒロトー君(同34期)制作の写真映像DVD「過去と未来を繋ぐ一泉の今」の一部も上映された。

参加者全員で一中・泉丘の両校歌や応援歌を歌い＝写真＝、感激の中で実行委員長の今井朋人33期代表がお礼のあいさつを述べ、担当幹事引き継ぎ式では来年度幹事の34期を代表して至極明子さんが決意表明した。最後に

創立121周年一泉同窓会総会・懇親会 1000人が母校の発展誓う

役員改選 清水会長(泉丘22期)ら全員3期目へ



林隆信副会長(同22期)の発声で三本締めを行って閉会した。

会場では33期生がオリジナル手ぬぐいと母校の現在を紹介するDVDを販売、500セットがすぐに売り切れた。収益は後日、教育環境整備費として母校に寄贈した。

次期役員、14人が全員留任

新役員は次の皆さん。任期は28年10月15日まで。◆会長 清水義博(泉丘22期)◆副会長 林隆信(同22期)、泉屋利郎(同14期)、新村康二(同18期)、岡能久(同20期)、温井伸(同26期)、玉川昌範(同31期)、中村太郎(同35期)、北川雅一郎(同39期)、小倉一郎(同40期)、笠松寿美子(通信41期)◆監事 高木清一郎(泉丘13期)、澤田力雄(同15期)◆事務局長 中山一郎(同10期)

27年度総会 10月11日(日)に変更

平成27年度の総会・懇親会は10月11日にANAクラウンプラザホテルで開催することが、3月21日の臨時代表委員会で決まった。10月16日から18日まで金沢市内の主なホテルで日本血液学会が開かれ、恒例の15日夜はその準備でホテルのホールがどこも使用できないため、やむなく変更することになった。

物故者慰霊祭

亡き師・亡き友を忍ぶ

一泉同窓会の平成26年度物故者慰霊祭が創立記念日の10月15日午後、母校の巖霜碑前で行われ、同窓生や学校関係者ら25人が亡き師、亡き級友の冥福を祈った＝写真＝。

石浦神社の長谷吉慶宮司が祝詞を奏上、清水義博会長（泉丘22期）、新屋長二郎校長、最高年齢者の西野貞雄さん（一中52期）、今年度の総会・懇親会を運営する今井朋人実行委員長（泉丘33期）らが順に玉串を捧げた。

これまで10人以上の参列が見られた一中卒



業生は今年は4人だけで、時代の流れを感じさせる慰霊祭だった。

地区同窓会だより



79歳の年の差超えて交流

関東一泉総会に360人集う

平成26年度関東一泉同窓会の総会・懇親会が10月25日、東京・新宿のハイアットリージェンシー東京で開かれた。56回目となる今年のテーマは来春の北陸新幹線開通を先取りして「もっと来んかいね～“かがやき”で！」。昭和10年卒業の一中42期生から今春卒業の泉丘66期生まで参加した約360人は、79歳の年の差を超えて親交を深めあった。金沢から清水義博一泉同窓会会長（泉丘22期）、新屋長二郎校長ら7人が出席した。

今年度幹事の泉丘35期の加藤剛君と関明子さんが司会を務め、総会で新谷修会長（同11期）が「新幹線開通で東京の一極集中が加速

しないよう、ふるさとを応援していきたい」とあいさつ、清水会長は祝辞の中で今回も350人以上の参加者を集めた35期の努力をたたえ、新屋校長は母校の耐震大規模改修工事や後輩たちの活動状況について報告した。

懇親会は96歳の最年長・古澤英雄さん（一中42期）の乾杯の音頭で始まった＝写真＝。石川の美酒に治部煮や協賛いただいた「金沢カレー」などが振舞われ、ふるさとの話題が飛び交う歓談の時となった。金沢ゆかりの景品を沢山取り揃えた抽選会も大いに盛り上がった。

エンディング・タイムでは35期の元応援団員らのリードで一中・泉丘の両校歌を斉唱、見事なホスト役を務めた35期の57人全員が拍手に迎えられて登壇、竹中昭夫代表がお礼の言葉を述べ、次いで次年度幹事の土井下健治36期代表が「思い出に残る楽しい同窓会にしたい」と決意表明した。

予定の2時間半がアツと言う間にすぎ、山岸章副会長（同17期）の閉会の辞で名残を惜しみながらの閉会となった。

新谷会長ら全役員が留任

留任となった役員は次の皆さん。(全員泉丘)
◆会長 新谷 修 (11期) ◆副会長 山岸章 (17期)、高山 充 (20期)、宇野 明美 (23期) ◆監事 山下 哲之 (22期)、浅井 稔 (23期) ◆顧問 村上 与恵 (12期)

今年も土産に「あんころ」

関西一泉、片瀬会長が贈る

関西一泉同窓会の第34回総会・懇親会が6月7日午後、大阪市中央区域見のパノラマスカイレストラン・アサヒで97人が参加して開かれた。金沢からは清水義博本部長（泉丘22期）や新屋長二郎校長、恩師の吉田亮一先生（同24期）ら7人に加え、今秋の一泉同窓会を運営する泉丘33期の今井朋人実行委員長ら5人も特別参加して「秋の金沢でまたお会いしましょう」と呼びかけた。

泉丘27期の高瀬誠一君と37期中村明彦君が司会を務め、関西の片瀬貴文会長（一中55期）が「この会に集うことで昔の思い出に新しい伝統を積み重ねてほしい」とあいさつした。続いて清水本部長は昨年の創立120周年記念事業に対するお礼を述べた後、東京六大学野球春のリーグ戦で早大の武藤風行内野手（泉丘63期）が一般入試にもかかわらず4番で打率、本塁打の2冠に輝いたことに触れ、この快挙こそ一泉魂であると紹介した。また、新屋校長が耐震大規模改修工事など母校の様子を報告した。懇親会は太田忠夫さん（一中55期）の乾杯の音頭で始まった。途中に金沢の銘菓が当たるラッキープレゼントがあり、今年も



岡谷雄二さん（泉丘19期）の笑いいっぱいのプレゼンターぶりに会場は一段と盛り上がった。最後に一中・泉丘の両校歌を斉唱＝写真左下＝、高橋初枝副会長（同4期）の中締めで宴を閉じた。今回も片瀬会長から土産に松任の「あんころ」が全員に贈られた。

恒例の二次会も北新地の「珠洲」（松尾ゆきえさん経営・通信12期）で行われ、もう一度盛り上がってそれぞれの高校時代の思い出話に花が咲いた。

三馬一泉会長に田中氏（泉丘8期）



三馬一泉同志会の第26回総会・懇親会が8月28日、金沢市野町4丁目の割烹料理「むとう」で12人が出席して開かれた＝写真＝。

総会では大西俊治会長（泉丘7期）のあいさつの後、同志の輪を一層拡大してほしいと田中一郎さん（同8期）への会長交代が承認され、新会長が誕生した。田中新会長は親睦ゴルフ会の開催や女性会員の勧誘などで会員増を図りたいと抱負を述べた。

お待ちかねの懇親会は太田重雄さん（一中50期）の力強い乾杯の発声で始まった。いつものことながら半世紀以上ものタイムスリップで高校時代の話に花が咲き、最後は角信平さん（泉丘5期）の三本締めの余韻を耳にしながら散会した。（北島敏男＝泉丘8期・記）



北菱電興株式会社

取締役 小倉周一郎（元一泉同窓会会長）
相談役 泉丘7期

代表取締役社長 小倉 一郎（泉丘40期）

本社 〒920-0381 金沢市古府3丁目12番地
TEL (076) 269-8500(代) FAX (076) 269-8501



カタノ工業株式会社

代表取締役社長 蚊谷八郎（前一泉同窓会会長）
会 長 泉丘14期

本社 〒920-0910 石川県金沢市下新町6番33号
TEL (076) 263-6111 FAX (076) 222-3433



「白山市一泉」をめざす

松任一泉 鶴来、美川からも参加者

平成26年度の松任一泉同窓会が11月22日、グランドホテル白山で73人が出席して開かれた。今年初めて隣接する鶴来、美川両地区の同窓生も数人参加、総会で青木桂生会長（泉丘13期）が「白山市が誕生して今年で10年。松任の名にこだわらず鶴来、美川地区の同窓生との交流を深めながら、白山市一泉同窓会として集えるよう準備を進めていきたい」とあいさつした。

懇親会では新村康二一泉同窓会副会長（同18期）がお祝いの言葉を述べ、続いて宮本雅春副校長が母校の近況を報告した。本屋操副会長（同13期）の乾杯の音頭で酒宴となり＝写真＝、恒例のビンゴゲームなどで盛り上がった。最後に一中・泉丘の両校歌を斉唱、福田裕副会長（同18期）の中締めで名残を惜しみながら散会となった。

懇親会前恒例の講演会では漆器の老舗『能作』社長・岡能久さん（同20期＝一泉同窓会副会長）が「加賀漆器の世界発信」と題して講演した。（米田和功＝泉丘44期・記）

金沢南部地区一泉に拡大

額・扇台地区一泉会を発展的に解消、金沢

南部地区一泉会と名を改めた平成26年度の例会が9月9日、金沢国際ホテルで開かれ、新規参加者9人を含む23人が出席、楽しいひとときを過ごした＝写真＝。

村井紘世話人（泉丘13期）があいさつ、窪田米松さん（同5期）の乾杯の音頭で酒宴となり、今回は新規参加者が多かったので全員が自己紹介した。後半は思い出話やカラオケで一段と盛り上がった。最後に校歌を斉唱、一番若い杉原信さん（同25期）が中締めのないあいさつをして散会となった。

（八日市屋俊文＝同20期・記）



はくおう会、4年ぶり開催

金沢市寺町地区の一泉同窓会・はくおう会の懇親会が6月15日昼、「石亭」で開かれた。4年ぶりの開催で、一中の大先輩3人を含む12人が出席した＝写真＝。

参加者それぞれの時代の母校の様子や、同じ地区の住民同士なので地区の話題も沢山聞けて、一泉同窓生でよかったと感じるひと時だった。（増田伸子＝泉丘28期・記）



クスのアオキ

本社／石川県白山市松本町2512番地
TEL 076-274-1111（代）
http://www.kusuri-aoki.co.jp/

取締役会長	青木 桂生	（松任一泉同窓会会長）
取締役兼常務執行役員 管理本部長	八幡 亮一	（泉丘37期）
代表取締役社長	青木 宏憲	（泉丘43期）
専務執行役員 店舗運営本部長	青木 孝憲	（泉丘44期）



学校法人金沢工業大学

理事長 **泉屋利郎**（一泉同窓会副会長）
（泉丘14期）

石川県野々市市扇が丘7-1 〒921-8501
Tel. 076-248-1100

一中・泉丘 各期の集い①

◆泉丘4期生会が初の「新盆」昼食同窓会
平成26年度の泉丘4期生会が7月14日、金沢ニューグランドホテルで開かれた。遠来の参加者に配慮、金沢の「新盆」に合わせた初の夏季開催で、さらに昨年度の傘寿記念同窓会で提案された「簡素で継続開催」の意向を尊重し、昼食パーティー形式としたので、前回より2人多い男29人、女28人の57人が出席した。

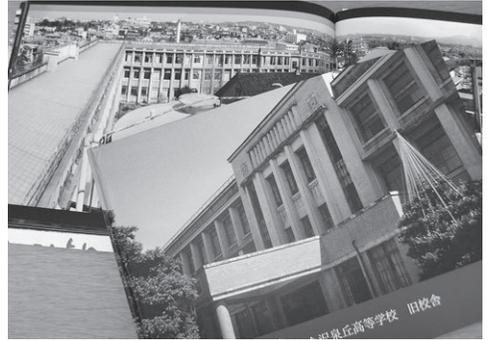
総会は藤井修副会長の司会で物故者144人に黙祷を捧げ、校歌を斉唱した。続いて山崎昭一郎会長が歓迎のあいさつを述べ、副会長の私・酒井浩が一泉行列や一泉同窓会総会・懇親会など本部行事への参加を要請、議案審議では中村外茂治君が会計報告、神戸重盛君が監査報告を行い、拍手で全議案を承認して総会を終えた。

直ちに記念写真に納まった後＝写真＝、私・酒井の司会で懇親会パーティーに移り、長田八栄子さんの発声で乾杯、酒宴に入った。開会を祝って中村君が謡曲「高砂」を披露、会場がにぎやかになったところで和服姿の長谷川芳子さんが歌謡舞踊「おそめ恋姿」などを艶やかに踊り、引き続いて恒例になってい



る高木祝子さんの手品もあって会場はおおいに沸いた。

予定の時間がアッと云う間に過ぎ、坂井治三郎幹事長の中締め、山崎会長の閉会のあいさつ、私・酒井の閉会の辞で名残を惜しみながらの終了となった。(酒井 浩・記)



懐かしの「旧校舎写真集」

3,000円で発売中

トピックス

一泉同窓会は「旧校舎写真集」＝写真＝を発売している。泉丘30期の南 敏康が昭和53年の卒業時の記念にと特徴ある校舎の外観や教室、体育館の様子などを撮影したもので、当時の片町や香林坊の風景も収められている。

A4判、全44ページで、懐かしの写真58枚が掲載されている。問い合わせ・購入希望者は一泉同窓会事務局（電話 076-242-0211、ファックス 076-216-5656、Eメール issen_knz@hotmail.com）まで連絡を。遠方でも送り届ける。

We can create a sustainable society for future generation.
一般社団法人 MuU(漢字表記:無)MuU=Mutual Understanding

理事長 清水 義博 (一泉同窓会会長)
泉丘 22 期

金沢市高尾台3丁目127番地 TEL&FAX 076-296-2577

自動車販売・整備

キスモ株式会社

代表取締役社長 林 隆 信 (一泉同窓会副会長)
泉丘 22 期
専務取締役 林 泰 三 (泉丘 54 期)

本社 〒921-8043 金沢市西泉3丁目2番1号
TEL (076)280-4455 FAX (076)280-0657

◆関東 4 期生会が銀座で昼食会



関東泉丘 4 期生同窓会が 4 月 16 日正午から、東京・銀座 7 丁目の「筑紫楼

銀座店」で昼食会として開かれた。金沢からの山崎昭一郎 4 期生会会長、酒井浩副会長、坂井治三郎幹事長をはじめ男 15 人、女 14 人の 29 人が参加した＝写真＝。

今年は石橋英夫君と二口善乃君、高浪克子さんと清水嶺子さんが幹事を務めた。同期会はいつも高校時代の若者に戻れるもので、今回も時間の経つのを忘れての談笑が続いた。
(酒井 浩・記)

◆泉丘 5 期の五泉会が傘寿記念同窓会

泉丘 5 期・五泉会の傘寿記念同窓会が 5 月 22 日、湯涌温泉「さかえや」一泊で行われた。粟津温泉での高校卒業 50 周年記念同窓会以来 11 年ぶりの集まりで、関東、関西からも駆け付けた人もあり、32 人（うち女性 10 人）が出席して旧交を温めた。

地元組の森皖が司会を務め、金山嘉行君が歓迎のあいさつで「百歳に向かって今後も元気に楽しもう」と呼びかけた。続いて私・浜



上が昨秋の一泉同窓会 120 周年記念パーティーに出席した 20 人の級友から「温泉での同窓会」の強い要望があり、今回の懇親会を企画した一と経過を説明、関東の古谷綾子さんの発声で乾杯、酒宴に入った＝写真＝。

美味しいお酒と山海の珍味を満喫、飲むほどに酔うほどに 60 年以上も前的高校時代が昨日のようによみがえり、思い出話を十分に楽しんだ。最後に校歌を歌い、新潟の赤玉善二君の中締めでお開きとなった。翌日は朝食後に自由解散した。
(浜上洋一・記)

◆泉丘 6 期ふくせん会も傘寿記念同窓会

泉丘 6 期（昭和 29 年卒）・ふくせん会の傘寿記念同窓会が 11 月 11 日、いで湯の里湯涌の「かなや」に 71 人の善男善女が集まって開かれた＝写真＝。



アオさん（福田政博）の司会に始まり、会長のモーコ（辻貞夫）の心温まるあいさつに思いを一つにし、物故者への哀悼の黙祷を捧げ、モーリ（毛利雅樹）の乾杯の音頭で一同声高らかに盃を挙げた。しばしの静寂の後あちこちから笑い、叫び、楽しさにあふれる騒音が続いた。さらに部屋に戻っても深夜まで会話は続くのであった。

翌日は朝食を終え、再会を約しつつ惜別の思いを胸にそれぞれの地に向け旅立って行った。
(村上信吉・記)

医療法人社団

新村病院

〒920-2104 白山市月橋町 722-12 ☎(076)273-0100

社会福祉法人 鶴来会
特別養護老人ホーム

あじさいの郷

〒920-2132 白山市明島町春 130 ☎(076)273-0123

理事長 新村 康二（一泉同窓会副会長）
（泉丘 18 期）

漆器の能作

代表取締役 岡 能久（一泉同窓会副会長）
社 長 泉丘 20 期
相談役 海道 正人（泉丘 20 期）

本店 〒920-0962 金沢市広坂 1 丁目 1—60
TEL (076)263-8121(代) FAX (076)263-8122

◆恒例の関東八泉会に28人出席

恒例の関東八泉会（泉丘8期）が4月8日、東京・市ヶ谷の「アルカディア市ヶ谷・白山の間」で開かれた。金沢からの福田太陸八泉会代表幹事、向猷夫君、私・茶屋勝也を含め28人が出席した。

幹事の荒木二夫君が開会を告げ、宮丸凱史関東会長と福田代表幹事があいさつ、佐々木信憲君の司会で懇親会が進んだ。全員のスピーチで楽しい2時間を過ごし、最後に岡田紘美副会長が「来年も元気に集まりましょう」と呼びかけて閉会した。（茶屋勝也・記）



◆泉丘8期八泉会が喜寿祝い同窓会

泉丘8期・八泉会が「喜寿祝い同窓会」を11月6日、山代温泉「ゆのくに天祥」一泊で開催した。来賓の恩師・普神貫行先生（泉丘2期）を囲んで県外勢15人を含む総勢48人が出席した=写真=。

上田静夫君の司会進行で物故者99人に黙祷を捧げ、空手7段・米田禎男君による松濤館流型の演武で幕を開けた。福田太陸代表幹事のあいさつに続いて普神先生から祝辞をいただき、荒木二夫関東八泉会幹事の乾杯で宴が始まり、盃を酌み交わして旧交を温めた。

勇壮なゆのくに太鼓の観賞や懐かしの歌の合唱、校歌斉唱などで楽しいひとときを過ご

した。最後に長野県から出席の滝川徹君の三本締めで一次会を終えた。二次会はカラオケホールで青春歌謡や演歌を楽しんだ。

八期生全体の同窓会は今回で終了とし、今後は金沢や関東など地域ごとやクラス会など任意の集まりを続けることになった。

（茶屋勝也・記）

◆泉丘10期・泉寿会が山代温泉で同窓会

泉丘10期・泉寿会が2年ごとに行っている温泉同窓会が8月21日、山代温泉の「瑠璃光」で開かれ、出席した43人が楽しい一夜を過ごした=写真=。

私・内田靖夫が司会を務め、まず亡き級友94人に黙祷を捧げた。次いで吉村雅彦会長が歓迎のあいさつ、金子兵衛関東会長と板岡尚司関西会長が地区活動を報告した。

懇親会は金子君の乾杯の音頭でにぎやかに始まった。途中、大谷孝弘君の名調子によるビンゴゲーム、安原由紀子さんのフラダンス、森礼子さんの新舞踊といずれも関東勢の余興で会場は一段と盛り上がり、校歌斉唱で一次



会を終えた。館内のバーを貸し切った二次会にも全員が参加、カラオケ合戦のように次々と得意のノドが披露された。

翌日は周辺観光に出かけたグループのほか、小松カントリークラブでゴルフ大会が開かれ、松本弘君が優勝した。（内田靖夫・記）

株式会社 北國新聞社

〒920-8588 金沢市南町2番1号
TEL (076) 263-2111

賃貸保証は、次のステージへ。

REGSYS 株式会社レグシス

代表取締役
会長兼社長 玉川 昌範（一泉同窓会副会長）
泉丘 31期

〔金沢支店〕 〒921-8163 金沢市横川7-35-1 ルミエール横川2F
TEL (076) 229-7156 FAX (076) 229-7232
〔本 社〕 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-19-9 虎の門TBLビルディング5F
TEL (03) 5510-4848 FAX (03) 5510-4849



◆恒例の関東泉寿会に37人集う

1月の最終日曜日恒例の関東泉寿会（泉丘10期）の27年新年会が25日、東京・四谷の「主婦会館プラザエフ」で開かれた。金沢から吉村雅彦泉寿会会長ら6人、名古屋から飯倉和男君と37人が出席、盛況だった＝写真＝。

物故者への黙禱、26年度の活動・会計報告の後、吉村会長のあいさつ、同期のまとめ役でもある中山一郎一泉同窓会事務局長が行事予定や母校の現況を報告、加藤修君の乾杯発声で懇親会に入った。途中、イラン駐在経験の長い宮腰幸男君から体験談を、広部和也成蹊国際政治学教授から関連解説を聞いた。

いつものように森礼子さんの新舞踊、金子兵衛関東会長のハワイアンに合わせた安原由紀子さんの華麗なフラを楽しみ、ビンゴゲームで盛り上がった。校歌を斉唱、大窪紀吉君の軽妙な中締めあいさつで閉会した。

会場を変えての二次会は『懇親とカラオケの会』で各自が自慢のノドを披露、大締めは鍋谷汎君が得意の「歌舞伎声色」で華やかに締めて散会した。（大谷孝弘・記）

◆関東泉丘11期が3年ぶりに同期会

関東泉丘11期の同期会が4月19日、東京・新宿の三井クラブで開かれ、関東地区在住者90人のうち24人が出席して旧交を温めた。

回を追うごとに出席者が減っており、3年前の前回から3人が亡くなった。出席者の中にも何か病気を抱えている人が多いが、それでも顔を合わせると55年前に戻ったような気持ちになる。ありがたいことだ。3分間スピーチを聞きながら、今日1日を精一杯生きねばとつくづく思った。（徳田智律・記）

◆泉丘14期が恒例の忘・新年会を楽しむ

泉丘14期「一四日会」の平成26年忘年会が12月15日、金沢市主計町の鍋割烹「みふく」で30人が集まって開かれた。会名の通り例年14日に開催しているが、この日は日曜日で二次会の片町の店が休業とあって一日延ばしたことや、久しぶりに女性3人が参加して盛り上がったことが今回の特長。

泉屋利郎幹事があいさつして酒宴となり、五つのテーブルに分かれて名物のカキ鍋に舌鼓をうった。

また、明けて2月14日にはこれも恒例の新



年会が同市東山1丁目のやき鳥の「ちょう吉」で22人が出席して開かれた＝写真＝。

敷谷八郎会長が「今年も元気で同期会だけでなく一泉同窓会の各種行事にも参加して、14期の心意気を示そう」とあいさつ、堂井重昭君の発声で乾杯、美味しい焼き鳥で生ビールの盃を重ねた。二次会は片町のなじみの店でもう一度楽しんだ。（宍戸 範・記）

栄・加賀雪梅 醸造元
金沢中村酒造株式会社

代表取締役社長 中村太郎（一泉同窓会副会長）
（泉丘35期）

本社 〒920-0867 石川県金沢市長土堀3丁目2番15号
TEL(076)248-2435 FAX(076)248-2436

RYOKI

菱機工業株式会社

取締役社長 北川雅一朗（一泉同窓会副会長）
（泉丘39期）
専務取締役 北川 信重（泉丘21期）

〒921-8626 金沢市御影町10-7
TEL (076)241-1141 FAX (076)244-6888

◆泉丘18期「おはこ会」が16回目の同窓会
泉丘18期の第16回「おはこ会」同窓会が例
年通り金沢駅前「ガーデンホテル金沢」を
会場に4月26日、同期生69人と恩師の楠禎一
郎、安高徹両先生を迎えて盛大に開かれた＝
写真＝。参加者は地元ばかりでなく北海道、
関東、中部、関西と広範囲にわたった。

幹事は3年前から順番制になり、今回は我
々4組の番。代表幹事は母校の第20代校長を
務めた鈴森庸雄君、司会は和田高明君と東海
林也令子さんとオール4組でおもてなし。特
に和田君と東海林さんはぶっつけ本番とは思
えない名司会進行ぶりだった。東川政一君の

木遣り、岡田秀樹君の相撲甚句、本野達朗君
の詩吟が参加者の懐かしい歓談に花を添えた。

最後は一泉同窓会副会長の新村康二君の一
本締めで来年の再開を約し、二次会、三次会
へと流れていった。(小林憲一・記)



トピックス 泉丘16期の天内篤典さんが級
友・能上宏君の活躍を称える相
撲甚句を作った。能上さんは高校相撲金沢大
会の個人戦で見事優勝し、母校の名を高める
と共に、母校の同大会連続出場にも尽力して
いる。甚句の文句を紹介しよう。

相撲甚句 能上 宏

アードスコイ ドスコイ
アアアアアアアア、アアアアアエー
アードスコイ ドスコイ
朋友能上君を甚句に読め
ばヨー

能上宏さん(泉丘16期)の相撲甚句
活躍称えて作る

アードスコイ ドスコイ
アアアアアアア泉丘の学び舎を
巣立ちて今年は五十年 ホイ
過ぐる昭和のさんぱち(三十八年)は
相撲の聖地石川の ホイ
高校相撲は卯辰山
「第四十四回大会」
見事個人優勝を
決まりし大技かわずがけ ホイ

母校の名前を全国に
相撲王国石川の
郷土の誇りと名を残す
鍛えに鍛えしその身体
威風堂々晴れ姿
一に稽古、二に稽古
真向勝負を信条に
文武両道貫きて
進んだ大学同志社



能上 宏さん

相撲の強さは群を抜き
あまた残せし名勝負
後輩育成はばからず

その功績は語り草
不慮の病を乗り越えて
我々同期の一同に
希望と勇気を与えつつ
あまた名花のある中で
能上宏の花が咲く
これに勝りしーヨーオホホオーイ
アアアアアアア花はないヨー
アードスコイ ドスコイ

今村耳鼻咽喉科医院

院長 **今村 純一** (泉丘29期)

〒924-0805 石川県白山市若宮2-52
TEL (076) 276-3387 FAX (076) 277-6605



おおみぞ内科・皮膚科クリニック

院長 **大溝 了庸** (泉丘27期)

副院長 **大溝由香里** (泉丘29期)

〒920-0922 金沢市横山町8番41号
TEL (076) 224-0033 FAX (076) 224-0039

台湾・もう一人の「水利の父」
磯田謙雄技師（一中18期）

台湾における「水利の父」と言えば、八田與一技師（一中11期）を思い浮かべる人が多い。東大で土木を学んだ八田技師は明治43（1910）年、日本が統治していた台湾に渡り、総督府の技術者として台湾開発のため数々の事業に携わった。中でも最大の業績は烏山頭ダムと嘉南平野の大灌漑施設の建設である。烏山頭ダムは東洋一の大きさに1億5千万トンの貯水量を誇り、石川県の約半分の広さ、15万ヘクタールの嘉南平野に、地球の3分の1周に当たる1万6千キロメートルの給排水路を造った。大正9（1920）年に着工、昭和5（1930）年に完成した。

一中—東大と八田技師と同コース

八田技師に比べ、磯田謙雄（のりお、一中18期）技師を知っている人はまだ少ない。しかし、磯田技師の功績は決して軽くはない。日本統治下の台湾で彼の行った業績は、80年以上たった今日も台湾の人々に讃えられているのを見ると、八田技師同様、我々一泉同窓生の大きな誇りと言えよう。

磯田技師は明治25（1892）年、金沢市上松原町（現在の尾山神社近く）に生まれた。新竪町尋常小、小将町高等小を経て同39年金沢一中に入学・44年卒業（18期）、四高、東大土木工学科を卒業して大正7（1918）年に台湾総督府土木局に就職した。一中から東大土木、そして台湾へとあこがれだった7期上の先輩・八田技師と同じ道を歩み出したのである。26歳になっていた。

同11年、30歳の磯田技師は中心的立場で水路工事・堰堤工事に取り組み、36歳の昭和3（1928）年12月、「台中州大南庄庶苗養成所灌漑工事導水路工事」

の主任となり完成に力を注いだ。3年後の同7（1932）年5月に導水管工事が竣工、9月には水路の通水試験を行い10月14日から通水が行われた。この農業用水は「白冷圳（はくれいしゅう）」と命名された。

在りし日の磯田謙雄技師の写真
（新社郷白冷圳社造促進会所蔵）



大地を渡る「白冷圳」建設 3本の逆サイホンで繋ぐ

現在の台中市新社大地の奥山で、八仙山に沿って流れる水量豊富な大甲溪から取水、中流の白冷大地に至る「白冷圳」は全長16.6キロメートル。22カ所のトンネルと14カ所の橋でつなぎ、二つの台地の22.6メートルの高低差を利用した3本の逆サイホン水管で溪谷を越える水路である。日本から運んだ送水管は直径1.3メートル、鋼壁1.13センチで総工費は145万円（今なら55億円相当）かかった。

「圳」は台湾では「田んぼのほとりの溝」の意味で、雨水だけに頼る大地の乾燥畑840㍓



一番大きな2号逆サイホン。長さ346メートル、右の大地から左の大地へ高低差3メートルを利用して流れる

メヘクターをサトウキビ畑などに甦らせただけでなく、生活水としても利用された。

毎年10月15日に記念祭や圳の清掃

逆サイホンと言えば金沢城に犀川に水を引いた江戸時代の加賀藩土木技師・板屋兵四郎がいる。平四郎の技術を知る磯田技師ならではの仕掛けに、当時の台湾の人々は驚いた。磯田技師の造った白冷圳は左ページ下の写真の通り、導水管を目で確認することが出来る。

昭和20（1945）年の太平洋戦争終了後、台湾が日本の統治下から離れることになり、台湾政府は白冷圳を接管、その後、台中農田水利会が管理してきた。ところが平成11（1999）年9月、台湾中部で発生した大地震で白冷圳の一部が壊れ、水が止まった。農業用水だけでなく「命の水」を失った約3万人の流域住民は、当たり前のように使っていた白冷圳の水が、どれほど自分たちの生活を潤していたかを再認識した。

農業用や「命の水」に活用 大地震で断水、大切さ知る

大震災ののち毎年、通水が始まった10月14日に記念会がもたれるようになり、圳の清掃を行っている。また、通水80周年の平成24（2012）年を機に日台交流の機運が高まり、台湾からの訪問団9人が金沢を訪れ、戦後の昭和22（1947）年に帰国して同49（1974）年8月、82歳で亡くなるまで暮らした金沢市寺町1丁目の磯田技師の自宅を視察した。さらに翌25年の秋には白冷圳近くの公園に磯田技師の銅像が建立された。

顕彰活動の先頭に立つ城南公民館

出身地金沢での顕彰活動も急速に高まって



深谷を渡る橋は14カ所もある

「白冷圳」を見上げる磯田謙雄技師の銅像



いる。その先頭に立つ城南公民館は25年2月に発行した「創立60周年記念誌」（編集委員は一中53期の新保時正さんら7人）に地元ゆ

かりの偉人として磯田謙雄技師の業績を掲載した。新保さんは前年の通水80周年記念式に参加、25年秋の銅像除幕式にも台日文化交流訪問団から同公民館への出席要請を受けて仲間4人で参加した。この年の12月、今度は台南奇美文化基金から台湾の実業家・許文龍氏が制作した磯田技師の胸像が城南公民館に届き、昨26年5月に訪台して許氏に感謝状を渡した。胸像は現在、公民館の2階に収集した資料とともに飾られている。

同公民館はこれを機にさらに顕彰活動に力を入れることにし、「磯田謙雄ブックレット編集委員会」を立ち上げ、今夏までに地域の小学高学年を対象にした小冊子を発行する。編集委員らは一泉同窓会の資料室を訪れて、不明になっていた一中入学前の経歴を発見、また、昨年10月13日から16日まで現地調査のために5人が訪台、台中農田水利会の案内で白冷圳をくまなく見て回った。

（注＝掲載写真はいずれも城南公民館提供）

一中・泉丘 各期の集い②

◆泉丘33期が総会成功へ直前同窓会

故きを温ねて新しきを知る一。この故事成語を体感できる金沢市の指定文化財「辻家(つじけ)庭園」に8月17日、泉丘33期の仲間57人が集まった。加賀藩前田家の家老・横山家が大正初期に建てた別邸の庭園は、結婚式場を併設して再生・開業した昨年12月まで100年近くもの間、一般に公開されていなかったという。

壁面全体がガラスで仕上げられたバンケットホールは、緑にあふれる目の前の庭園と一体化し、開放感からか自然と会話も弾んだ。

幹事期として運営を担う今年の一泉同窓会総会・懇親会の開催が2カ月後に迫る中、列席していただいた一泉同窓会の中山一郎事務局長から激励の言葉を頂戴し、33期代表の今井朋人君が「一泉の歴史を未来につなげてい



くため、必ず成功させます」と力強く宣言。廣瀬智弘君が乾杯の音頭をとった後、恒例となった参加者一人ひとりの近況報告へと続き、秘話の暴露も交えたスピーチに、会場は笑いに包まれた。

サッカー部で活躍した長瀬友樹君が大きな声で閉会を告げるエールを切り、寺田一広君

今井代表(右)が新屋校長に目録贈呈



泉丘33期の代表・今井朋人君が11月21日、母校を訪れて新屋長二郎校長に「教育環境の整備に充ててください」と20万円を寄贈した。

トピックス

母校の教育環境整備にと
泉丘33期が20万円寄贈

さる10月15日に開かれた創立121周年記念・平成26年度一泉同窓会総会・懇親会の運営を担当した33期は、当日、会場で一中・泉丘グッズ(両校の校章入り日本手ぬぐいと母校写真映像DVDのセット)を500部限定販売、その益金を寄贈したもの。

今井代表から目録を受け取った新屋校長は「趣旨に添い本校の教育充実のため有効に活用する」とお礼を述べた。贈呈式には学校側から表治男教頭、大西晃潤事務長が同席した。

がセットしたカメラで記念の集合写真を撮影した=写真=。散会となった後もみんな別れ難く、三々五々に庭園内の大滝を見学するなど名残を惜しみながら、温故知新の会場を後にした。(村山雅弥・記)

医療法人社団隆整会

川北病院

整形外科・リハビリテーション科

理事長 院 長 川北 哲 (泉丘29期)

〒921-8031 金沢市野町1-3-55
TEL(076)241-8351 FAX(076)241-8398

医療法人社団

きだ整形外科クリニック

理事長 木田 泰弘 (泉丘29期)

〒929-0106 石川県能美市西二口町丙30-1
TEL(0761)55-8811

102人が再会を懐かしむ



◆泉丘34期が2年続けて団結同窓会

泉丘34期の同窓会が8月9日、金沢エクセル東急ホテルで開かれた。昨年に引き続いての開催で、地元をはじめ全国各地から旧盆を利用して帰省した級友102人（昨年より11人も多い）が再会を懐かしんだ。

34期は今年の一泉同窓会総会の副幹事で、北陸新幹線開業の来年は主幹事を務めることになっている。今年は33期をしっかり補佐して、来年に備えて同期の絆と団結をさらに強めるのが同窓会の開催目的。

招待した33期の今井朋人実行委員長、杉本圭副委員長から励ましの言葉をいただき、士気はいやがうえにも上がり、クラス幹事を中心とした各クラスの団結は、クラスを超えての団結の輪の広がりとなり、最高の祝宴となった。恩師の長柄勝美、福島良治両先生にも出席いただき、高校時代の思い出話も盛り上がった。

最後は内田滋一君のエールと中締めのないさつ、校歌斉唱と続いた。今回参加できなかった方々からも懐かしいメッセージ、来年に向けての協力メッセージが沢山届き、本当に意義ある同窓会だった。その後も別れがたく二次会、三次会、四次会と朝まで組も多かった。

それぞれの人生が、それぞれの笑顔につながり、全員が主役の同窓会を続けられることに泉丘高校卒業生としての誇りと伝統の重みを感じる。（至極明子・記）

◆一泉総会幹事に向け泉丘35期が同窓会

2年後の平成28年度一泉同窓会総会・懇親会の幹事を担当することになっている泉丘35期の同窓会が8月16日、金沢エクセル東急ホテルで開かれた。旧盆帰省に関係なく、この日のためにわざわざホテルをとって来沢した旧友など県外からの参加者20人を含め、総勢80人が集まった＝写真＝。

会は中村太郎会長のあいさつ、乾杯の発声で始まり、まず今秋の関東一泉同窓会の運営がわが35期なので、金沢からも応援参加で成功を期すことになった。歓談中、クラス別や



部活ごとに集まって記念写真を撮っているうちに昔話に花が咲き、和やかな雰囲気の中で祝宴が続いた。再来年の一泉同窓会に向けさらに団結を強めることが確認され、有意義な同窓会となった。

名残は尽きず深夜の二次会、三次会へと続き、伝統ある泉丘高校の卒業生であることの有難さを感じる一日となった。

（藪 哲男・記）

ニッケル・クロム・亜鉛・金・銀・銅
スズ・無電解ニッケル・パフ研磨

石川メッキ工業株式会社

取締役社長 鴻野 洋行（泉丘29期）

本社 〒920-0337 金沢市金石西1-4-45
TEL (076) 268-1682(代) FAX (076) 268-1683
専光寺工場 〒920-0356 金沢市専光寺町レ3-28
TEL (076) 266-1682 FAX (076) 266-1685

内科・循環器科・消化器科

四位例内科クリニック

院長 四位例 靖（泉丘29期）

〒921-8041 金沢市泉1-1-5
TEL (076) 280-1717 FAX (076) 280-4343



◆泉丘37期が卒業30周年記念同窓会

泉丘37期の高校卒業30周年記念同窓会が1月3日の昼、金沢駅前のホテル日航金沢で開かれた。恩師の石田毅士郎、能沢正夫、大野郁雄、安田俊彦、畑野禎の5先生をはじめ、正月休みを利用して全国各地から級友が駆け付け、総勢107人の大同窓会となった。

開宴に先立ち代表幹事の村上啓太君が歓迎のあいさつを述べ、恩師代表の石田先生の乾

杯の発声でにぎやかな酒宴となった。これまでクラス単位や部活の仲間での飲み会があったが、全体に呼びかけた同窓会は初めてのこと。久しぶりの再会や互いの元気を喜び合う光景が会場いっぱいに広がったが、卒業後初めて会う級友に誰だかわからず爆笑となるケースも多かった。

わが37期は1年半後に関東一泉同窓会の幹事を引き受け、さらに3年半後には金沢での一泉同窓会の運営を行わねばならない。二つの大イベントに向け結束を誓い合い、高らかに校歌を斉唱した。閉会を前にクラスごとと全員の集合写真を撮ってようやくお開きとなった。

名残を惜しむ級友たちは正月の町に流れ、旧交を温めていた。 (矢部篤雄・記)

恒例の「一泉行列」

金沢一中創立の地「本多町」から現校舎までの道のりを、「一中魂から泉丘魂」の継承を目指して練り歩き、県民・市民に一泉の意気を示す平成26年度の「一泉行列」が8月31日に行われ、OB・OGら86人を含む総勢



OB・OGら86人が参加

425人が一泉魂をアピールした=写真=。恒例の行列に対し、沿道からも多くの拍手や声援が送られた。

金沢歌劇座前での出発式で新屋長二郎校長、清水義博一泉同窓会会長から激励を受けた一

行は brass band 部の校歌や応援歌の演奏、合唱部の歌声に合わせて母校をめざした。同窓生の参加数が過去最高となったのは日曜日のため。石川県ウォーキング協会の谷内廸子副会長(泉丘12期)の呼びかけで同協会所属の同窓生13人の参加をはじめ、10月の一泉総

会主幹事期の33期が今井朋人実行委員長ら10人、副幹事の34期も8人とまとまった参加が多かった。また、33期は10月15日の総会 PR プラカードを掲げて歩き、沿道の同窓生に総会・懇親会への参加を呼びかけた。

人・愛・信頼の街づくりを…

alice アリス学園グループ

理事長 竹澤 敦子 (泉丘 29 期)

竹澤 結花 (泉丘 57 期)

〒921-8176 金沢市円光寺本町 8-50

TEL (076) 280-1001 FAX (076) 280-1002

株式会社 **通善商店**

代表取締役社長 **通善 一洋** (泉丘29期)

〒920-0211 金沢市湊 2-97

TEL (076) 237-3633 FAX (076) 237-3660

《遺体は母校を一周して斎場へ》

平成26年11月8日、甲子園で活躍した村井理朔君（泉丘6期）が78歳の生涯を閉じた。3日後、多くの友人に見送られて式場を出た霊柩車は、思い出いっぱいの母校を一周して斎場へと向かった。

私が村井君に初めて会ったのは昭和26年の春。泉丘に入学して野球部の門をたたいた時だった。彼は鶴来中学から来た投手とのこと。上背のある快男児で新入部員の中で早くも際立っていた。朝6時前に起きて鶴来駅から電車に乗り野町駅から30分の徒歩通学、放課後練習は日没後も月明りでベースランニングの毎日。帰宅は9時過ぎと聞いていた。

成績の良かった村井君にこんな逸話が残っている。ユニホームのポケットに英単語のカードを忍ばせ、走りながら覚えていたという。足の拇指球を意識して走ると脳が刺激され、暗記物がよくできると後で専門家に聞いたが、彼はそのことを知っていたのだろうか。泉丘卒業後に北陸電力に入社したが、数年後に慶応大学の法学部を受験、同36年に卒業した努力家でもある。

《2安打に封じて初戦を突破》

昭和28年夏、全国高校野球選手権大会の出場を決める北陸大会の決勝でわが泉丘は延長

見事な本塁打を放った村井選手（背番号1）



甲子園で投打に活躍

村井 理朔君を悼む

泉丘6期 徳光 重希

10回7—5で高岡西部を破り、夢の甲子園出場を決めた。一中・泉丘として3回目の出場である（編集注・その後38年にも出場し、通算4回の出場を誇る）。私は9番で左翼手、彼は4番で投手だった。

ホームラン賞と村井選手



甲子園での1回戦は京滋代表の八日市高校と対戦、村井君の会心の投球で2安打に封じて4—1

で快勝、引き続き翌日には休養十分な土佐高校と対戦、15対3で敗退した。しかし、この試合で村井君が4回表に左翼ラッキーゾーンに本塁打を放って北陸健児の粘りを示し、満場の拍手を浴びた。当時は木製バットであり本塁打の出ない時代だった。この時私は三塁コーチボックスにいて全力で走って来る彼に本塁打だと知らせ、右手をゆっくり回してスピードを緩ませ本塁へ誘導した。彼は全速力で塁を一周して、チームに奮起を促す契機としたかったのかも知れないが、今は知る由もない。

勉強が好きで成績が良く、野球が好きでうまかった村井理朔君。母校を一周して天国へ向うとき、「後輩たちよ、文武両道に励め」とエールを送っていたに違いない。 合掌

塚崎公認会計士事務所

公認会計士 塚崎 俊博 (泉丘29期)
税 理 士

〒920-0944 金沢市三口新町1-3-3
TEL(076)263-8092
FAX(076)263-7701

河合鉱山株式会社

代表取締役 出口 衛 (泉丘29期)

〒920-2373 石川県白山市河合町二15
TEL(076)254-2214 FAX(076)254-2215

文化・運動部 OB 会だより



42回目の桜美会美術展

一中・泉丘高校の美術部 OB と愛好家の集い・一泉桜美会の42回目の美術展が10月28日から11月3日までの7日間、金沢市広坂1丁目の金沢21世紀美術館市民ギャラリーで開かれた＝写真＝。

会場には最高齢会員・三須徹さん（一中47期、91歳）の水墨画の大作（120号）をはじめ、一中卒業会員6人を含む48人の作品67点に加え、在校生41人の作品41点の合計108点が展示された。洋画・日本画・水墨画・書・工芸・陶芸・写真など各分野の力作が会場を埋め、会期中は一泉同窓生だけでなく一般市民も含め2600人以上が訪れて関心の高さを示した。

「一泉桜美会」は会員を随時募集している。入会希望者は一泉同窓会事務局（電話076-242-0211、メール issen_knz@hotmail.com）へ連絡すればよい。一泉桜美会から入会案内を送る。（茶屋勝也＝泉丘8期・記）

水泳部 OB 七士会が総会

一中・泉丘水泳部 OB 会の泉泳会に属する泉丘7期から11期までの交流会「七士会」の

31回目の総会・懇親会が4月8日、金沢市の「深谷温泉元湯石屋」で開かれ、12人が参加した＝写真＝。

今回は井田孟君（9期）が幹事を務め、金沢セントラルゴルフ倶楽部でプレーを楽しんだ後、「石屋」に集合した。欠席の石田憲二会長（18期）に代わって顧問の紐野義昭県議（26期）が顔を見せ、50年前の話題で夜遅くまで盛り上がった。

翌9日は5年前に母校のプールサイドに植えた桜を見に行き、散り始めた桜の下で『現役時代はまだ水が冷たい時期から猛練習したものだ』と思い出話に再度花が咲いた。

（西川義正＝泉丘9期・記）



田上さん(57期)がボール贈る

第96回全国高校野球選手権石川大会に出場する母校・金沢泉丘高校野球部の激励会が7月5日の夕、金沢市総合体育館第1会議室で開かれ、小坂優太主将ら選手20人が「甲子園をめざし頑張ります」と決意を述べた。

席上、一中57期の田上光さんから託された練習用のニューボール10個が中山一郎一泉同窓会事務局長（泉丘10期）から小坂主将に贈られた。田上さんは一中野球部最後の捕手で、2年前にもアメリカ大リーグで使用されているキャッチャーミットを後輩たちにプレゼントした。



キッコーヤマナ しょうゆ・みそ 各種醤油加工品

鍋喜醤油株式会社

代表取締役社長 鍋谷 有介（泉丘29期）

〒920-0337 金沢市金石西3-5-12
TEL (076) 267-0066 FAX (076) 268-8526
E-mail : office@nabeki.net

医療法人社団 泉之杉会

にしかわクリニック

泌尿器科専門医

院長 西川 忠之（泉丘29期）

〒923-1243 石川県能美市三ツ屋町14-1
TEL (0761) 52-0025 FAX (0761) 52-0065

野球部 OB会 武藤選手(泉丘63期)に激励金

一泉野球部 OB 会の第17回総会・懇親会が8月11日、金沢エクセルホテル東急で会員40人が出席して開かれた＝写真＝。

総会は宮地治会長(泉丘23期)が議長に就き、平成25年度の事業と決算を報告、26年度の事業計画と予算案が承認された。また今年は一泉野球部 OB である早稲田大学の武藤風行君(63期)が、春のリーグ戦で首位打者に輝くと共に大学日本代表に選ばれたことを称え、OB 会として激励金を贈ったことが報告された。引き続いての懇親会では宮地会長があいさつ、来賓の新屋長二郎泉丘高校校長が祝辞を述べ、北本正伸野球部監督(42期)から野球部の近況報告の後、野村稔顧問(5期)の発声で乾杯して酒宴に入った。若手会員が多数出席する中、今年には女性会員の神田ゆいさん(58期)が初参加、マネージャーとしての当時の思い出を語った。

トピックス



平成26年度東京六大学野球春季リーグ戦で早大4年の4番武藤風行一塁手(泉丘63期)＝写真＝が首位打者と本塁打の2冠を獲得、ベストナインに選ばれた。

春の成績は開幕から全12試合4番。54打席、44打数21安打、打率4割7分7厘、

春のリーグ戦で早大の武藤 首位打者と本塁打の2冠

4本塁打、10打点、10四死球、4盗塁。秋季リーグでも4番で活躍した。

武藤選手が全国的に話題になったのは、スポーツ推薦でなく、難関の一般入試で早大スポーツ科学部に合格、並み居る甲子園出場組に負けじと猛練習、3年春にベンチ入りして秋にレギュラーを獲得した。彼は今、15年間の野球人生を終え、カナダへ留学している。

母校の久しぶりの甲子園出場に向け、全会員で支援の輪を広げることを誓い、校歌を斉唱、中尾治郎副会長(17期)の閉会のあいさつで散会した。(谷端時宗＝泉丘43期・記)



柔志会、13年ぶりに集う

一中・泉丘高校の柔道部 OB の柔志会総会・懇親会が9月13日、金沢駅前の ANA クラウンプラザホテルで開かれた。13年ぶりの開催で泉丘6期から63期までの53人が出席、会費の一部12万円余りを母校に寄付するとともに今後も支援していくことを誓い合った。会場には山野之義金沢市長(32期)が筆を執った部旗の「高致」が掲げられた＝写真下＝。

初めに恩師の喜多充先生と山野市長が祝辞を述べ、高見太郎世話人代表(25期)がこの日の開催に漕ぎ着けた経過を、母校の正木梨絵監督が部活の報告をした。正木監督は60キロ級の小山泰輔選手(2年生)が、1月の選抜大会と6月の総体県予選で優勝、団体も総体3位で32年ぶりに北信越大会に出場できたと告げると大きな拍手が送られた。

懇親会は岡能久さん(20期)の乾杯の音頭で始まり、厳しい練習や大会の思い出話に沸いた。校歌を斉唱、最年長の北出晟さん(6期)が「この会を来年も続けていこう」と結んで散会した。



投稿二題

このところ巷では「断・捨・離」と言って、不要なものを捨てる、繋がりを断つなど、身辺をすっきりさせることを勧める風潮がある。美しい理想のようにも言われて、そのことに励む人もいる。

でも、私にとって「断・捨・離」は特に励まずとも、日々独りで断ち捨て、離れていくものが多い。体力、気力、思考、記憶、創造…。それらの力と人との繋がりが等々。

数えればきりが無い。ここで踏み止まらなければ、自分自身が捨てられ、離されてしまいそうだ。

ところで2年ほど前、私の高校時代のクラブで使っていた脚本が出てきたと里の弟が届けてくれた。60年も前のものをよくも捨てなかったものだ。冊子の字は一見活字に見えるが、ざら紙にガリ版刷りでリボン綴じ、手間の嵩が見える。脚本には舞台監督に私の



秋田に住んで46年の歳月が流れた。昨年10月15日、一泉同窓会の総会・懇親会に卒業以来はじめて出席した。会場をうずめた約千人の参加者の中で、金沢一中以来121年という歴史の重みに圧倒される思いであった。同期の旧友たちと盃を酌み交わしながら、懐かしい思い出話に花が咲いた。

高校時代の思い出の中で、3年生の時の浅香年木先生の日本史の授業は、わが人生を決定付けるものであった。

地図の上 朝鮮国に黒々と
墨をぬりつつ秋風をきく

韓国併合、大逆事件の授業の中で、先生が黒板に書かれた石川啄木の短歌が、今も目に焼き付いている。

大学で朝鮮史を専攻し、日韓・日朝問題に深く関わって、これまで70回以上韓国を訪問して、学術・文化交流に携わってきた原点が、浅香先生との出会いにあったことを、あらためてかみしめる機会であった。

秋田県生まれのプロレタリア作家・小林多

私の存在を示す古い脚本

泉丘8期 高橋 協子



出席者の半数以上が8期生。一番元気がいいのかも知れない。

そんなわけで、人との繋がりは捨てたくない。懐かしい高校時代のことをはっきりと思い出させてくれ、存在証明と残影の証でもある脚本は、「断・捨・離」するにはとても忍び難く、ビニールの袋に入れて棚に押しこんだ。いつか仕舞い忘れることだろうけれども…。

投稿二題

喜二を顕彰する「秋田県多喜二祭」実行委員会の一員として活躍する中で、大正末から昭和の初めに金沢で発行されていた同人誌『原生林』に、多喜二の初期の作品「父の危篤」と「万歳々々」の二作品が掲載されていることを知ったのは、2009年2月のことであった。

しかも、同誌発行人の高口保明をはじめ、同人の田中健蔵・伊藤進、同誌小樽支部の中司鉄也（本名田中正次）がいずれも、

一中卒業生であったことは驚きであった。

『金沢一中泉丘高校百年史』によれば、1925（大正14）年4月から始まった軍事教練に対する反対運動が起こり、卒業式当日には落第した級友を救出するためのストライキが起こっている。同誌同人の面々はこの関係者達であった。

小林多喜二と一中卒業生との意外な関係に、不思議な歴史の因縁を感じている。

小林多喜二と一中卒業生

泉丘11期 茶谷 十六



OB 講演会から

進路選択や生き方を学ぶ
5先輩招き「社会人と語る会」

各界で活躍する泉丘高校出身の先輩の話聞き、今後の進路選択や生き方の参考にす平成26年度の社会人と語る会「21世紀を生きる君たちへのメッセージ」が11月1日、啓泉講堂で2年生400人を対象に開かれた。

パネリストとして招かれたのは、金沢村田製作所生産技術部の和田周平技師（泉丘47期）、国立病院機構北陸病院精神科の池田真由美医師（同48期）、藤野法律事務所の藤野智詔弁護士（同49期）、北陸放送報道局の大西宏和放送記者（同）、金沢市企業局総務部の吉田通子さん（同50期）の5人。コーディネーターは南陽利志教諭（同37期）が務めた。

5先輩は①自己紹介②大学と学部・学科を選んだ理由③現在の仕事への誇り④高校生活の過ごし方について経験談を述べ、生徒たちの質問にも答えた。

大学在学中でも方向転換は可能だが、自分は将来何をしたいかは高校時代に決めたほうがよい。それによって大学や学部が決まるから。勉強は頑張るほど良い。高校時代の勉強



和田周平さん



池田真由美さん



藤野智詔さん



大西宏和さん



吉田通子さん



南陽利志教諭

は必ず身になる。部活で先輩や後輩と話すことも良い刺激になるし、高校時代の友は生涯の友になる—などとアドバイスした。

また、パネルディスカッションに先立って新屋長二郎校長が、グローバル化が急激に進行している中では、今ある職業も大学卒業時には存在しないこともありうる。皆さんは急激な変化に柔軟に対応できるように、視野を世界に大きく広げて前向きにチャレンジし、チャンスをつかみ取ってほしい。そのためにも実社会の最前線で活躍する大先輩の話聞き、進路のヒントを得てほしいと述べた。

増山氏(泉丘29期) 迎え台湾の勉強

平成26年度の国際理解講演会が2月5日、母校の啓泉講堂で修学旅行の事前研修を兼ねて開かれた。講師は金沢市ふるさと偉人館の増山仁学芸員（泉丘29期）で、今秋に訪台する1年生400人に対し「台湾の歴史と少数民族・八田與一（一中11期）が果たした役割」と題して講演した。

増山さんは台湾の風土、歴史、少数民族から大先輩の八田技師が建設した烏山頭ダムについてプロゼクターを使ってわかりやすく説明した=写真=。特に八田技師については功績だけでなく人柄についても詳しく話し、生徒たちは早くも訪台の夢を膨らませた。



松井皮膚科クリニック

院長 松井 裕 (泉丘29期)

〒921-8178 金沢市寺地1-20-18
TEL(076)226-1241



医療法人社団 松緑会
東京医大客員准教授
松野リウマチ整形外科

院長 松野 博明 (泉丘29期)

〒930-0138 富山県富山市呉羽町7187-2
TEL (076) 436-1757 FAX (076) 436-1758
http://www.toyama-ra.com E-mail: info@toyama-ra.com

母校だより

耐震壁が設けられた1階の生徒ホール



母校の耐震・大規模改修 普通教室棟と図書館完成

平成26年4月から行われていた母校・泉丘高校の耐震・大規模改修工事の第一期分（5階建て普通教室棟と図書館棟）が12月末までに完成、管理棟2階の数学研究室に引っ越ししていた同窓会事務局も元の図書館棟2階に戻り、27年1月6日から仕事を始めている。同8日には生徒たちもプレハブの仮校舎から元の教室に戻った。

二期分の特別教室棟の工事は、プレハブ校舎にガスや水道を引いて特別教室仕様に改良後、27年の夏休み前から開始して年末までに完成の予定。従ってグラウンドが元通り使用できるのは28年の4月以降になりそうだ。

昭和56、57年に完成した母校の現校舎は、阪神・淡路大震災後に強化された建築基準法に合致しておらず、校舎内部に耐震壁を数十箇所設置して生徒や教職員の安全に対処することになった。併せて教育環境充実のため改修工事も行われた。

まず、仮設生徒玄関を啓泉講堂側に設け、

約28,800平方メートルのグラウンドを半分使って2階建てのプレハブ校舎2棟（36教室）が建てられ、生徒たちは夏休み前に仮校舎に移動していた。また、4月から早々と泉本町の金沢中央高校に間借りしていた通信制もこの2月末に戻って来た。

一方、校舎内の改修工事としては廊下や教室の壁塗装が新しく直されて明るくなり、黒板も塗り直して見やすくなった。トイレも模様替えし、洋式トイレも設置され、2～5階の中央階段横の多目的広場は、ベンチや腰板、床マットが張り替えられ、見違えるほどきれいになって生徒たちに喜ばれている。



グラウンドのプレハブ校舎

古書の保管庫を一新

図書館棟の改修工事によって、同棟1階と中2階にある古書の保管庫が一新された。

同庫には江戸時代後期の文政2年（1819年）発行の「算学鉤致」や天保7年（1836年）発行の天体観測による航海方法を説く「渡海標的」、1859年発行の英語の百科辞典「ウェブスター辞典」など約9200冊が木製棚に並べられていた。

それら価値ある古書が固定したスチール製棚に収められ、本の保存に最適な摂氏20度に保つ空調設備も完備された。学校では同窓生の閲覧希望にも応えるとしている。

内科・アレルギー科 **三宅医院**

院長 **三宅 靖** (泉丘29期)

〒920-3126 金沢市福久1-95
TEL (076) 257-7600 FAX (076) 257-7619

整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科

もりした整形外科クリニック

〒923-1245 石川県能美市辰口町654-1
TEL (0761) 51-6515 FAX (0761) 51-6710

もりした通所・訪問リハビリテーション

すたあと

〒923-1245 石川県能美市辰口町655-1
TEL (0761) 51-6512 FAX (0761) 51-6513

理事長 **森下 肇** (泉丘29期)



建国中(島)が2度目の訪問

泉丘生と楽しく交流

台湾・台北市の建国高級中学校で日本語を学ぶ生徒80人と陳偉泓(ちん・いこう)校長ら教職員7人が4月22日、泉丘高校を訪れてクラス単位交流や歓迎会で親睦を深めた。両校は台湾の水利事業に貢献した八田與一技師が泉丘の前身の金沢一中出身、八田技師の長男が建国中の前身の台北一中出身という縁で、泉丘が台湾への修学旅行を開始した4年前から交流を行っており、建国中が泉丘を訪れたのは25年春に続いて2回目。

建国中の一行がバスで到着すると、泉丘の合唱部がアーチ下で同中の校歌を歌って迎えた。初めに校内見学とクラスでの交流会が行われ、折り紙や綾取りなどを楽しんだ=写真上=。続いて啓泉講堂で英語による歓迎会が行われ、泉丘は秋に修学旅行で訪台する2年



かなざわ矯正歯科クリニック

不島 健持 (泉丘29期)

神奈川県立大学高度先進口腔医学講座
歯科矯正学分野 大学院教授

〒920-0961 金沢市香林坊1-2-38
TEL・FAX (076) 262-0118

生が出席した。新屋長二郎校長と陳校長が交流会の実現を喜び合い、金沢の工芸品とガラスの置物を交換した。生徒会長の圓明沢真君の歓迎のあいさつに応え、建国中の生徒たちは泉丘の校歌斉唱やマジックを披露した。

一行は泉丘高の食堂で昼食をとり、アーチ下で記念撮影=写真左下=、秋の再会を約して泉丘高を後にした。午後には兼六園や金沢市内を見学、福井や京都、奈良を巡って27日に帰国した。

高精度のマーク読み取り機 67期生が卒業記念に贈る

平成26年度の卒業生(泉丘67期)は、卒業記念にと母校に最新式のマークシート読み取り機=写真=と、ソフト一式を贈った。進路指導課にはこれまでマークシート方式テストの読み取り機があったが、老朽化していて新機種の導入が望まれていた。



新しい読み取り機は精度が抜群なうえにソフトを変えることによって、マーク式と記述式の混在した回答も読み取ることができ入力、集計時間が大幅に削減できる。また、進路希望調査、学習時間調査などの各種調査やアンケートの集約などにも活用できる。

同課では卒業生の善意により、これまで以上に的確で迅速な進路指導が可能になるため、大いに活用することになっている。

株式会社 本田工務店

代表取締役 本田 正敏 (泉丘29期)

〒921-8063 金沢市八日市出町75番地
TEL (076) 249-6213(代) FAX (076) 240-1510

26年度一泉賞 6人に贈呈

平成26年度の「一泉賞」が3月1日、通信制卒業式の席上1人に、同3日の全日制卒業式で5人に清水義博一泉同窓会会長から贈呈された。同賞は平成6年に一泉創立100周年記念事業の一つとして設けられたもので、学業と秀でた課外活動を両立させた生徒に贈られる。当日は賞状とトロフィー、副賞の図書カード1万円分が渡された。今年度の受賞者は次の皆さん。

◆諸井 佐和さん 1年次に第32回全国高



校生読書体験記コンクールで一ツ橋文芸教育振興会賞を受賞した。3年間の学校生活は非常にまじめで、落ち着いた生活態度だった。また、一旦

決めたことに対してはコツコツと努力を重ねて目標、目的を達成してきた。

◆河井 淳平君 2年次に第37回全国高等



学校総合文化祭の自然科学部門で研究発表を行い、化学優秀賞に輝いた。非常にまじめで学業成績も優秀。化学部の部長として先頭に立って活動

し、継続的な研究や実験を積み重ね、他の生徒の見本となっている好人物である。

◆富永 雄大君 1年生の時から高校生の



各種将棋大会の県予選に出場して好成績を収め、2年次の第49回全国高等学校将棋選手権の男子団体戦で5位入賞を果たした。温厚誠実な人柄で

成績も優秀。2、3年時には後輩の指導をよく行い、部員の棋力向上に大きく貢献した。

◆福住 堂君 1年次に第7回全国高等学



校囲碁選抜大会に石川県代表として出場、男子個人戦2位となった。各種囲碁大会の県予選で何度も勝ち抜き、県代表選手として北信越選手権大

会にも2度出場した。学業でも努力を続け、3年間囲碁将棋部を盛り立てた。

◆川野 将太郎君 3年時に第10回全国物



理コンテスト 物理チャレンジ2014で優良賞、第38回全国高等学校総合文化祭の自然科学部門研究発表物理部門で文化連盟賞を受賞した。特に団

体戦ではリーダーシップを発揮、泉丘高校SSH活動の中心人物として活躍した。

◆鷺田 和樹君 自学自習を基本とする通



信制で通信課題のすべてをこなし、常に成績上位を維持。2年次から生徒会活動にも参加して書記となり、3年時には生徒会長として中心的役割

を果たした。物事に対し自分で解決する責任感にあふれ、卓球同好会も積極的に参加した。

通信制だより

通信制教育の全国大会

泉丘高、6月開催の主管校に

平成27年度・第67回全国高等学校通信制教育研究会総会並びに研究協議会（石川大会）は6月10日から12日まで、金沢市の石川県地場産業振興センターで開かれる。大会主管校・事務局に選ばれた泉丘高校通信制課程は、石川県での初開催の成功に向け年明けから準備を進めている。

大会は同教育研究会が主催、文部科学省な

どが後援しており、通信制教育の在り方や特性を生かした教育について研究協議し、社会に適應出来る生徒を育てることを目的とするもので、昭和25年の第1回大会から全国7地区の輪番制で開催されている。

今回も学校運営や教科指導、生徒指導、放送教育など6つの分科会が開かれ、研究委託校の発表も行われる。また、石川県立大学の熊谷英彦学長が「石川県立大学の教育と研究、農学、バイオテクノロジーおよびイグノーベル賞」と題して記念講演する。

参加者は全国116校の通信課程教職員、各都道府県の教育委員会担当者ら約350人の予定。

平成26年度一泉文庫寄贈・購入本

書名	著者	購入・寄贈者
川越中学校の建学精神と初代校長増野悦興の生涯 (注・元一中教諭)	滝沢民夫・編著	寄贈・滝沢民夫
2014アクタス4月号(東大入試速報)	北國新聞社	購入
2014アクタス5月号(難関10大合格 高校ランキング特集)	北國新聞社	購入
「朱木」東京版9号	金沢一中54期・朱木会東京支部	寄贈・金沢一中54期
あまきみこの童話を読む	西田谷 洋(泉丘37期)編	寄贈・西田谷 洋(泉丘37期)
埋もれた名著「農業開奮志」	清水隆久(元一中・泉丘高校教諭)編著	寄贈・清水隆久(元一中・泉丘高校教諭)
谷川 雁 永久工作者の言霊	松本輝夫(泉丘3期)著	購入
二つの主題一家持、鷗外の憂愁と決断―	中橋大通(元泉丘高校教諭)	購入
<独文>奥の細道	訳著・酒井 吏(一中54期) 挿絵・横野 浩(同)	寄贈・横野 浩(一中54期)
テキストの修辞学	西田谷 洋(泉丘37期)	寄贈・西田谷 洋(泉丘37期)
詩集 風よ運んでおくれ	林 信子(泉丘12期)	寄贈・林 信子(泉丘12期)
歌集 夕茜空	高橋協子(泉丘8期)	寄贈・高橋協子(泉丘8期)



通信の学園祭 弦楽や和太鼓演奏楽しむ

金沢中央高校に引っ越し中の泉丘通信制の学園祭が11月3日、本校の啓泉講堂で催され、ステージパフォーマンスなどを楽しんだ。

第二部の最初はチェロの大久保謙さん(泉丘21期)とヴァイオリンの秋子さん夫妻、ピアノの徳力清香さんによる弦楽アンサンブルコンサート=写真=。「旅立ちの日」など6曲を披露、生徒たちは美しい音色に聞き惚れた。続いて女性だけの和太鼓グループ「藍」のパワフルな演奏が行われた。生徒4人も太鼓演奏に登場、若い力を爆発させた。

活躍する後輩たち

高校将棋大会 田中君(2年)が3連勝



第50回全国高校将棋選手権県大会(5月6日、金沢市)の個人男子A級で泉丘2年の田中勇貴君=写真=が初優勝した。団体男子の泉丘Aは2位。また、第27回全国高校将棋竜王戦(8月22日、同)と第22回県支部連合会将棋大会(9月28日、同)のA級でも優勝、竜王戦の全国大会(8月24、25日、福岡市)は決勝トーナメントの初戦で敗れた。

◆田中利奈さんが野球の開会式で国歌独唱

夏の甲子園出場権を争う第96回全国高校野球選手権石川大会は7月12日、金沢市の県立野球場で開幕した。開会式で泉丘高校合唱部の田中利奈さん(2年)が国歌を独唱した。泉丘ナインは2回戦から出場したが、小松大谷に1-6で敗れた。

印刷/事務機器・事務用品販売/WEB制作



株式会社 山越

http://www.kai-p.co.jp/

代表取締役会長 山越 昭雄(泉丘11期)

■本社 〒920-0001 石川県金沢市千木町ル70番1
TEL(076)257-9101(代) FAX(076)257-9119
■東京支社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目12番18号
TEL(03)5413-7778(代) FAX(03)5413-7766



印刷・出版・マーケティング・eビジネス

株式会社 橋本確文堂

代表取締役社長 橋本 勝郎
(泉丘12期)

営業本部 〒921-8025 石川県金沢市増泉 4-10-10
TEL:(076)242-6121 FAX:(076)243-7945
東京支店 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-18-12
www.mba.co.jp TEL:(03)5472-7030 FAX:(03)5472-5101

東大11人、京大に27人合格^(26年度)

東大、京大など国公立大学の平成26年度前期入試合格者が3月10日までに発表され、母校・泉丘高校から東大に11人（現役7人）、京大に27人（同15人）が合格した。難関2大学の合格者数を他高校と比べると、金大附属（東大11人、京大5人）や富山県1位の富山中部（東大27人、京大3人）をやや上回り、特に京大合格者数は近10年で最も多い人数となった。

その他の難関国公立大では阪大28人、神大17人、東北大11人、名大8人、北大、九大各5人、一橋、東工大各1人で、阪大合格者数も近10年で最高だった。

また、金大には94人（現役78人）と昨年より27人多く合格、うち医学部医学科は14人（同10人）。医学科全体の合格者は私大の自治医科大3人、金沢医科大の1人含めて21人（同11人）で、このうち北大、東北大、九州大に各1人（いずれも過年度生）が合格した。

科学グランプリで泉丘 A 優勝



県内14校27チームが出場した「いしかわ高校科学グランプリ」で泉丘Aチームが優勝＝写真＝、Bチームが2位になった。

Aは2年10ホームの太田彰人、光田博一、斉藤隼、清水遼平、寺岡維吹、福島和紀、不鳥昇士君の7人。10月26日に県地場産業振興センターで実技競技が行われ振り子の周期計算、クリップと磁石でモーターを作って車を走らせた。筆記競技は11月2日に泉丘高校で行われ物理、化学、生物、地学、数学、情報の6科目に挑戦して総合成績を争った。

出村君、ロボット大会で活躍



7月30日から8月2日まで、中国・瀋陽市で開かれた国際学生ICT大会ロボットサッカー競技大会で、泉丘2年の出村賢聖君＝写真＝が加わる日本代表チームが3年連続で優秀賞を受けた。父で金沢工大の出村公成教授が監督を務め、他に滋賀、愛媛県の中、高校生ら4人で構成されていた。

また、出村君は5月に福岡県で開かれたロボカップジャパンオープン2014・ロボカップ@ホームシミュレーションの部で3位になった。挑戦者は研究者や大学生ばかりで、高校生は出村君だけだった。

＜編集後記＞

北陸新幹線の金沢―長野が3月14日開業、金沢と東京の450.5キロがこれまでより約1時間20分速い、最短2時間28分で結ばれた。

一番列車の指定席券が25秒で完売し、インターネットオークションでは高値が付いたとか。「100年に一度」の節目と言われる一番列車の発車は、ホームを埋めた約5千人であふれ1分遅れの午前6時1分に出発した。

開業2日目の15日は、金沢城公園に通常の日曜日の4倍の1万2900人が訪れ、兼六園は4割増しの8448人、近江町市場は5割増しの3万5千人で大混雑など、まさに「新幹線狂騒曲」の様相となった。

金沢―東京完全日帰り化の実現は、同窓会の諸活動にも好影響をもたらそうだ。関東八泉会が4月3日に東京で、泉丘2期が6月10日、湯涌温泉で同窓会を開催する。いずれもキャッチフレーズは「新幹線利用でぜひ出席を」だ。『かがやき』に乗って来た春が、北陸新時代への進行につながるよう祈ってやまない。(N)

「一泉」編集室

中山一郎(泉丘10期) 浅香以都子(同10期)
小林弘子(同12期)

題字・高川義一(一中53期・泉丘2期)